

# 令和3年7月7日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

## 5年生 図画工作科



5年生の図画工作科の学習では、一枚の写真からイメージを広げて「まだ見ぬ世界」を表現しました。広い体育館で、一人で一つの机で活動することで、それぞれの思いにじっくりと向き合っていました。15種類の写真の中から一つを選び、自分のイメージを膨らませたり発想を広げたりできるように、その写真がもつ特徴やそこから感じたこと・思いついたことなどをワークシートに書き込んでから画用紙に向き合いました。水彩絵の具を使って、濃淡やにじみ、ぼかしを生かしながら全員が集中して取り組んでいました。画用紙のサイズやぼかし網、ブラシ、刷毛などの用具を自由に選ぶことができ、「形」「色」「構図」を工夫しながら自分のイメージを表現しようと一人一人が真剣に考えて絵を描いていました。表現に迷う児童も、図鑑や友達の商品を見ることで自分なりのイメージをもつことができたようでした。活動の後の振り返りでは、制作を通して広がったイメージをワークシートに書き足す姿も見られました。

今年度の協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各教室に分散して協議会を実施しています。協議会后、品川区立立会小学校の田中 明美指導教諭より、本日の授業の成果や課題、図画工作科の授業の組み方や、日常の授業での指導のポイントなどをご指導いただきました。今日の学びを明日からの授業に生かしていきたいと思ひます。